



IIXIL 折板カーポート 縦連棟

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
 - 施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
 - この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



お願い

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

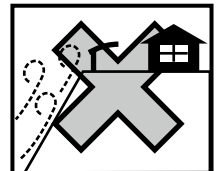
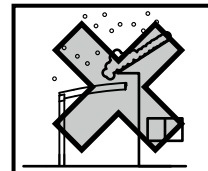
※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 日よけ・雨よけ以外の目的に本製品を使用しないでください。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
- 設置場所の確認をしてください。
 - ※施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
 - ※建物の屋根からの雪の落下を直接受けけない位置かどうか確認してください。
 - ※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取り付けてください。
- 一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行なってください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- 本製品施工の際は、D522(MAM-45)「取付説明書-基本・横連棟-」及び、D669(MAN-700)「取付説明書-基礎寸法一覧-」を併せてご使用ください。
- 縦連棟は2連棟までです。それ以上の連棟はしないでください。3台用は縦連棟できません。



お願い

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

< 基礎工事について >

⚠ 注意

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 設置する場所の条件により、基礎サイズが変わります。性能を発揮するためには、下記のような現地条件に応じて施工してください。①地盤の堅牢/軟弱さ（地耐力等）、②地盤内の埋設物の有無、③隣地境界線近くの設置、④別の構造物の基礎近くの設置
- コンクリート強度は18N/mm²以上で施工してください。

お願い

- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。
- 確認申請による設置の場合は、設置場所・現地地耐力・設置条件によって基礎サイズが異なるため、確認して施工してください。

< 施工上のご注意 >

⚠ 注意

- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定個所以外の穴加工はしないでください。
- 水漏れの原因になりますので、指定の個所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
ダウ・東レ（株）	SE960

- 柱を移動した場合、上下の折板の重なりしろでタイトフレームに固定できるように折板の長さおよび加工位置を調整してください。（重なりしろは200mm以上設けてください。）雨もれや積雪により破損のおそれがあります。
- ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。
※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m（25±5kgf・cm） ※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m（30±5kgf・cm）
※M10ボルト：40.0N・m±0.5N・m（400±5kgf・cm）

お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行ってください。
※作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行ってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
※作業者が相互に安全確認を行ってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

< 施工の後に >

⚠ 注意

- ボルト、ネジを増し締めしてください。緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

お願い

- 取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

1	梱包明細表	4
2	基本寸法と各部の名称	6
	1. 各部の名称	6
	2. 基本寸法	7
3	本体の施工方法	11
	1. 基礎の施工	11
	2. 梁・タイトフレームの取付け	12
	3. 側枠・折板の加工	13
	4. 側枠・折板の取付け	20
	5. 前後枠の取付け	22
	6. 水切りパッキンの取付け	22
	7. 竖樋の取付け	23

表示マーク



独立基礎で
施工の場合



土間コンクリートで
施工の場合



シーリング箇所

施工チェックポイント

重要

- 組立施工時、下記項目を確認し、確実に施工されていることを確認してください。
- 正しい取付けをしなかった場合、使用者がケガを負うおそれがあります。



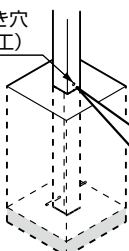
①水抜き穴の確認

- 柱に水抜き穴はあけていますか？
※凍結により柱の破損のおそれがあります。



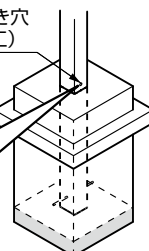
【独立基礎の場合
(土間コンクリート無し)】

φ6水抜き穴
(現場加工)



【土間コンクリート
併用基礎の場合】

φ6水抜き穴
(現場加工)



●柱には水抜き穴(φ6)
をあけてください。水
抜き穴をあけないと、
柱が破損するおそれ
があります。

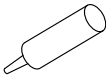
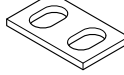
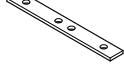


②施工完了後、ネジ・ボルトの締め忘れが無い確認

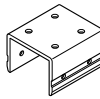
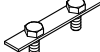
- 柱・梁のボルトと、前枠・後枠と梁を取付けている
ネジに緩みがないか確認してください。

1 梱包明細表

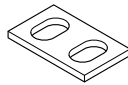
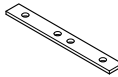
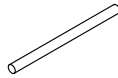
【1】縦連棟部品セット

名 称	略 図	員 数	
		1台用	2台用
シリコンコーキング材（アルコール型）		1	1
ルーフボルトキャップ		4	9
縦連棟水止めパッキン		1	2
折板ボルト		4	9
枠連結力バー		2	2
枠連結スペーサー		2	2
枠連結金具		4	4
【1-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種		17	17
取付説明書<D524/MAM-48>	—	1	1

【2】奥行延長部品セット

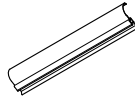
名 称	略 図	員 数				
		梁135	梁200	梁240	梁260	梁280
ルーフボルトキャップ		4	9	9	8	9
折板ボルト		4	9	9	8	9
側枠取付金具R		1	1	1	1	1
側枠取付金具L		1	1	1	1	1
梁キャップ135（※）		2	—	—	—	—
梁キャップ200（※）		—	2	—	—	—
梁キャップ240（※）		—	—	2	—	—
梁キャップ260（※）		—	—	—	2	—
梁キャップ280（※）		—	—	—	—	2
梁固定金具D		—	—	—	2	2
梁固定金具裏板140		—	—	—	4	4
枠連結力バー		2	2	2	2	2

【2】奥行延長部品セット（つづき）

名 称	略 図	員 数				
		梁135	梁200	梁240	梁260	梁280
枠連結スパーサー		2	2	2	2	2
枠連結金具		4	4	4	4	4
アンカー棒		—	—	—	2	2
【2-1】φ4×16ナベドリルネジ		8	8	8	8	8
【2-2】φ4×12トラスタッピンネジ3種		17	17	17	17	17
【2-3】M10×25六角ボルトPW（緩み止め付）		—	—	—	8	8
【2-4】M10六角ナット（緩み止め付）		—	—	—	8	8
【2-5】M10平座金		—	—	—	8	8
取付説明書<D524/MAM-48>	—	1	1	1	1	1

（※）梁高さによって使用する梁キャップの大きさは略図と異なります。略図は梁キャップ 240 を示しています。

【3】水切りパッキンセット

名 称	略 図	員 数		
		3本入	4本入	5本入
水切りパッキン		3	4	5

2 基本寸法と各部の名称

1. 各部の名称

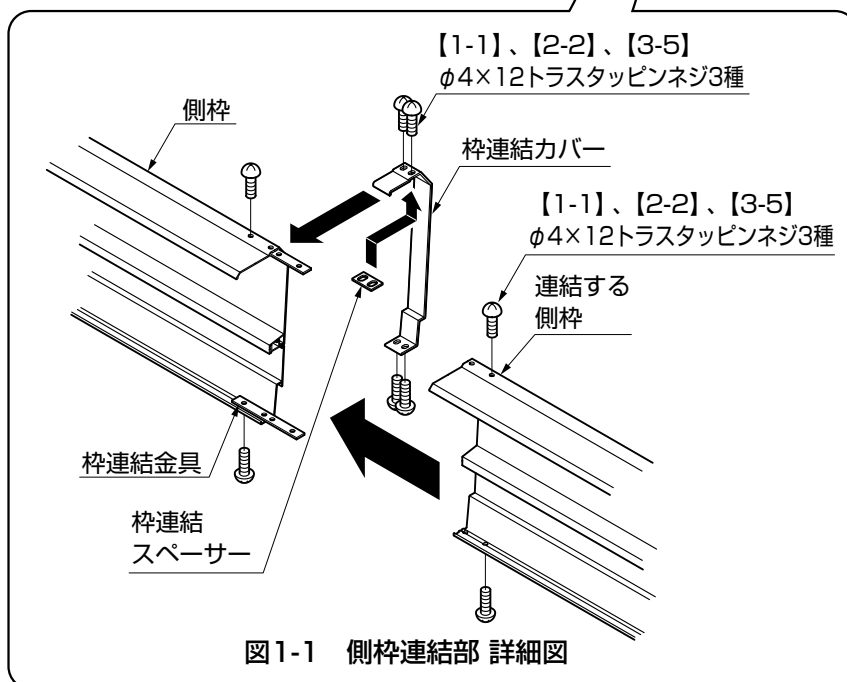
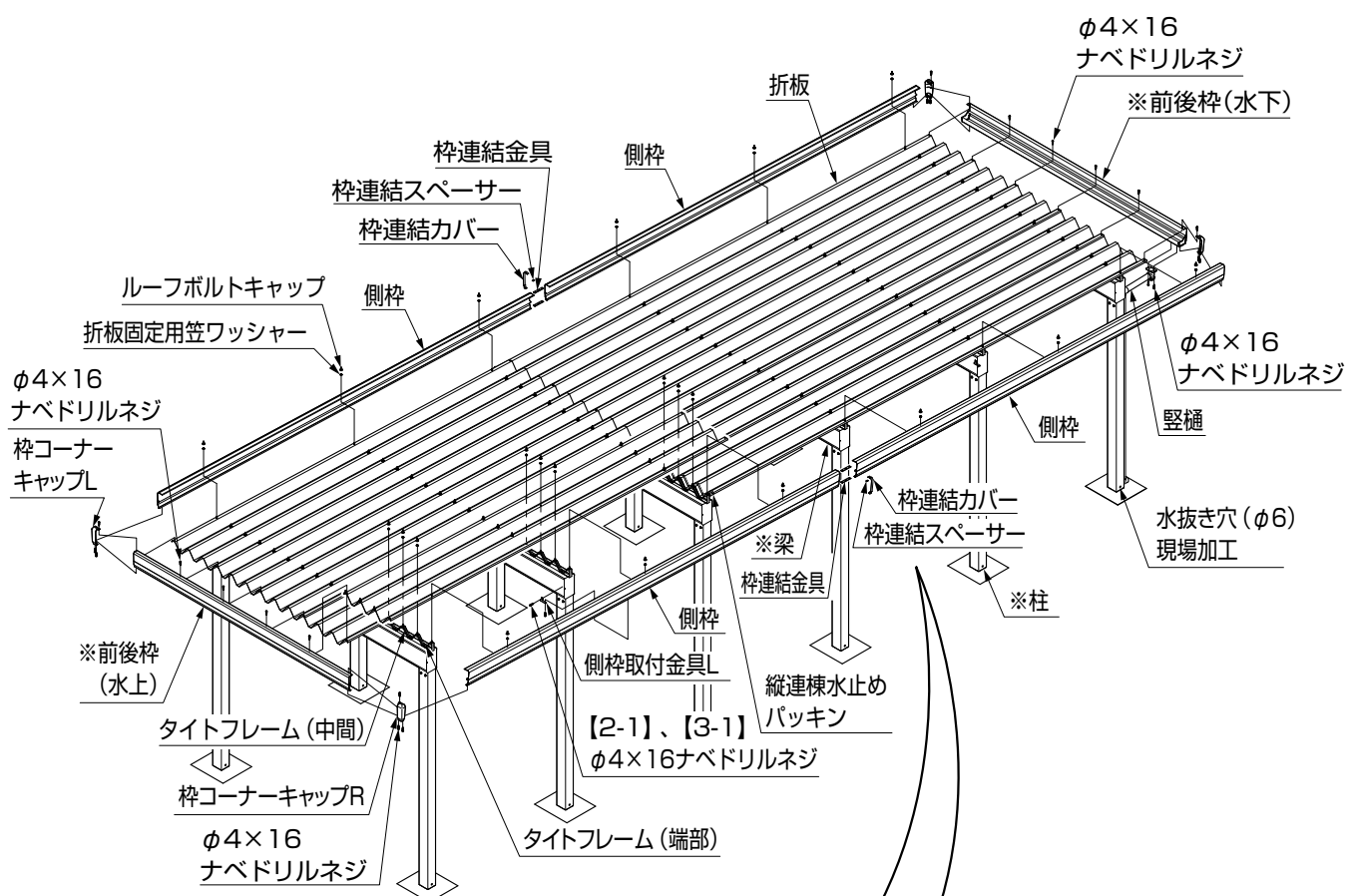


図1-1 側桟連結部 詳細図

お願い

●※印の取付けは、D522 (MAM-45) 「取付説明書 - 基本・横連棟 -」を参照してください。

2. 基本寸法

2-1 間口 ※()は梁260、280仕様を示します。

お願い

- 基礎寸法は、別紙D669(MAN-700)「取付説明書-基礎寸法一覧-」を参照ください。
- 柱の間口方向への移動は内側に100mmまで可能です。

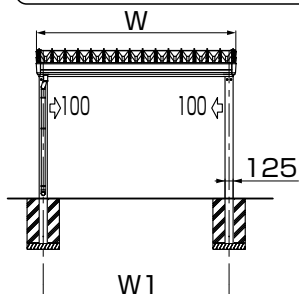


図2-1 間口30・36サイズ

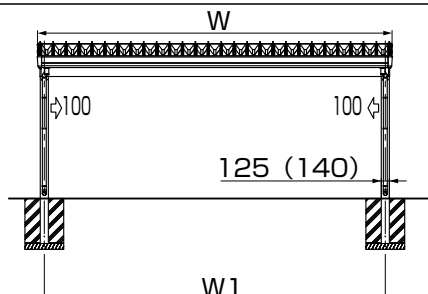


図2-2 間口48・55・60サイズ

表2-1

間口	W	W1
30	3084	2875
36	3684	3475
48	4884	4675(4660)
55	5484	5275(5260)
60	6084	5875(5860)

2-2 奥行き

お願い

- 基礎寸法は、別紙D669(MAN-700)「取付説明書-基礎寸法一覧-」を参照ください。
- 柱の奥行き方向への移動は±100mmまで可能です。(ただし、A寸法は±100mm以内にする事)
- 下記表記内容は標準柱寸法を示します。ロング柱25は標準柱の寸法値に+200mm、ロング柱30は標準柱の寸法値に+700mm、ロング柱35は標準柱の寸法値に+1200mmの値が高さ寸法に追加されます。(※1)

(1) 長さ55+55、55+60、60+60サイズ：4本柱+4本柱

※()内は梁260、280仕様を示します。

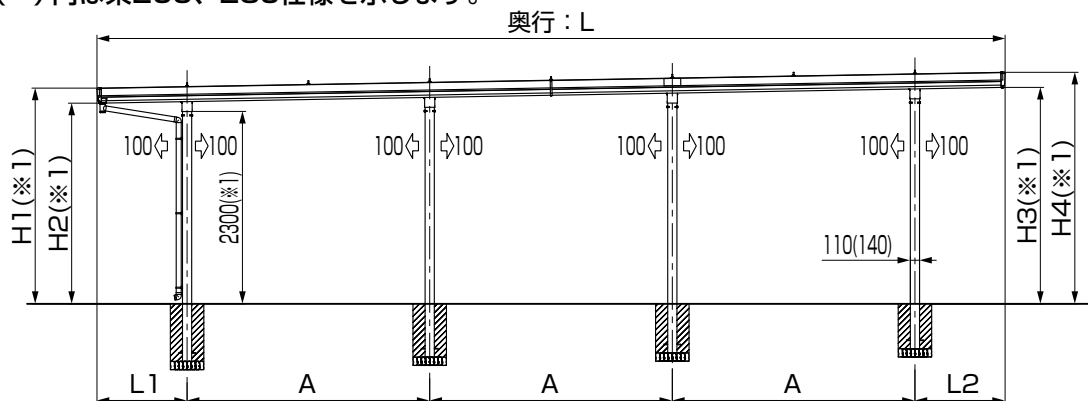


表2-2

梁	奥行き	L	L1	L2	A	H1	H2	H3	H4
135	55+55	10855	1077	1078	2900	2514	2334	2522	2703
	55+60	11455	1227	1228	3000	2511	2331	2530	2710
	60+60	12055	1527	1528	3000	2506	2326	2535	2716
200	55+55	10855	1077	1078	2900	2579	2399	2587	2768
	55+60	11455	1227	1228	3000	2576	2396	2595	2775
	60+60	12055	1527	1528	3000	2571	2391	2600	2781
240	55+55	10855	1077	1078	2900	2619	2439	2627	2808
	55+60	11455	1227	1228	3000	2616	2436	2635	2815
	60+60	12055	1527	1528	3000	2611	2431	2640	2821
260	55+55	10855	1077	1078	2900	2639	2459	2647	2828
	55+60	11455	1227	1228	3000	2636	2456	2655	2835
	60+60	12055	1527	1528	3000	2631	2451	2660	2841
280	55+55	10855	1077	1078	2900	2659	2479	2667	2848
	55+60	11455	1227	1228	3000	2656	2476	2675	2855
	60+60	12055	1527	1528	3000	2651	2471	2680	2861

2. (つづき)

2-2 つづき

お願い

- 基礎寸法は、別紙D669(MAN-700)「取付説明書 -基礎寸法一覧-」を参照ください。
- 柱の奥行き方向への移動は±100mmまで可能です。（ただし、A寸法は±100mm以内にすること）
- 下記表記内容は標準柱寸法を示します。ロング柱25は標準柱の寸法値に+200mm、ロング柱30は標準柱の寸法値に+700mm、ロング柱35は標準柱の寸法値に+1200mmの値が高さ寸法に追加されます。（※1）

(2) 長さ55+55、55+60、60+60サイズ：6本柱+6本柱

※（ ）内は梁260、280仕様を示します。

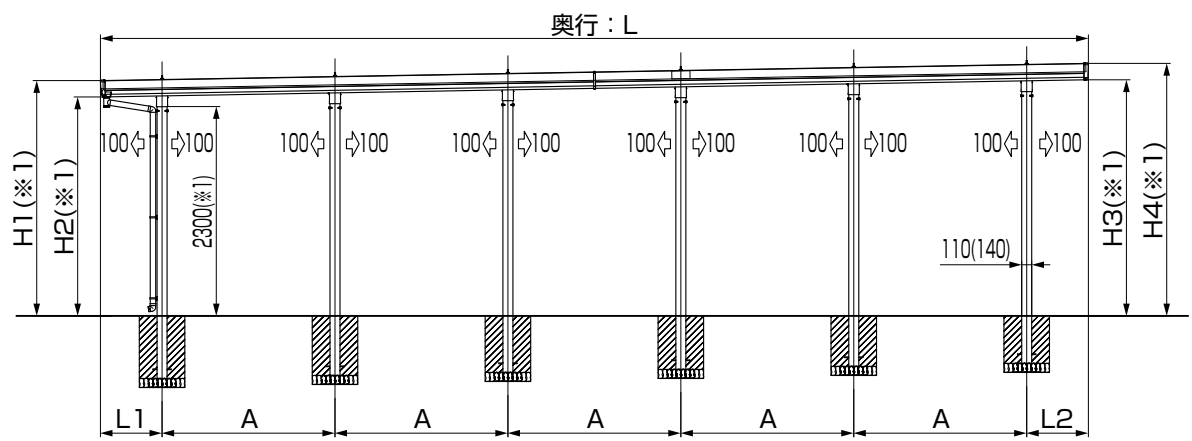


表2-3

梁	奥行き	L	L1	L2	A	H1	H2	H3	H4
200	55+55	10855	677	678	1900	2586	2406	2594	2775
	55+60	11455	727	728	2000	2585	2405	2604	2784
	60+60	12055	777	778	2100	2584	2404	2613	2794
240	55+55	10855	677	678	1900	2626	2446	2634	2815
	55+60	11455	727	728	2000	2625	2445	2644	2824
	60+60	12055	777	778	2100	2624	2444	2653	2834
260	55+55	10855	677	678	1900	2646	2466	2654	2835
280	55+55	10855	677	678	1900	2666	2486	2674	2855
	55+60	11455	727	728	2000	2665	2485	2684	2864
	60+60	12055	777	778	2100	2664	2484	2693	2874

(3) 長さ55+55、55+60、60+60サイズ：8本柱+8本柱

※()内は梁260、280仕様を示します。

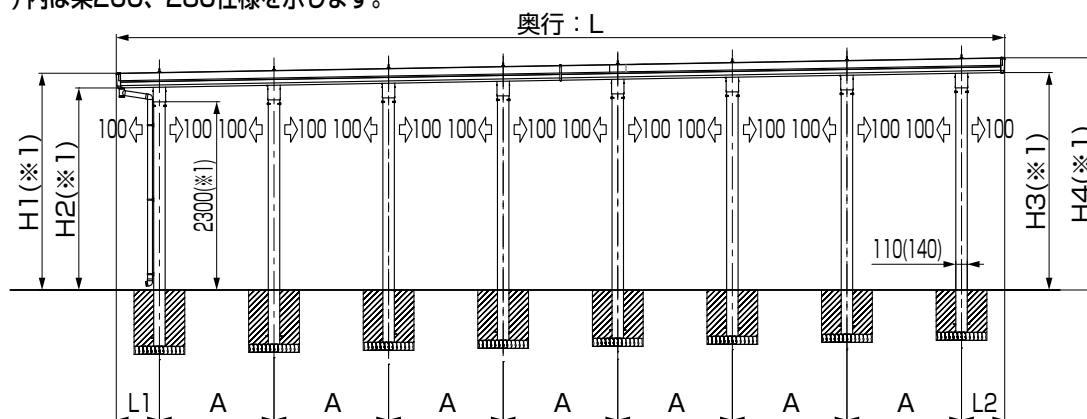


表2-4

梁	奥行き	L	L1	L2	A	H1	H2	H3	H4
200	55+55	10855	527	528	1400	2588	2408	2597	2777
	55+60	11455	477	478	1500	2589	2409	2608	2788
	60+60	12055	427	428	1600	2590	2410	2619	2800
240	55+55	10855	527	528	1400	2628	2448	2637	2817
	55+60	11455	477	478	1500	2629	2449	2648	2828
	60+60	12055	427	428	1600	2630	2450	2659	2840
260	55+55	10855	527	528	1400	2648	2468	2657	2837
280	55+55	10855	527	528	1400	2668	2488	2677	2857
	55+60	11455	477	478	1500	2669	2489	2688	2868
	60+60	12055	427	428	1600	2670	2490	2699	2880

(4) 長さ55+12、60+12サイズ：4本柱+12延長 ※()内は梁260、280仕様を示します。

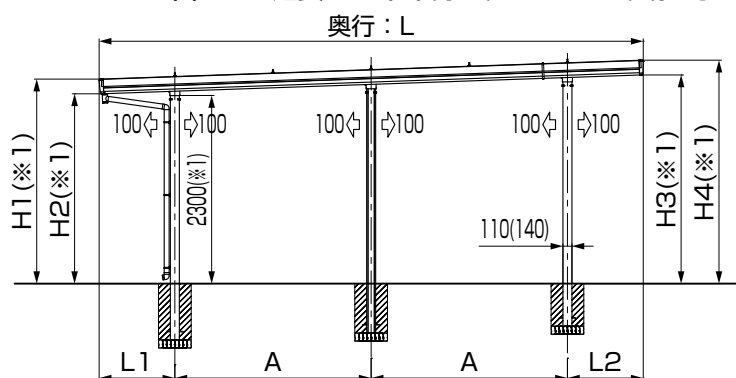


表2-5

梁	奥行き	L	L1	L2	A	H1	H2	H3	H4
135	55+12	6652	926	927	2400	2500	2321	2551	2732
	60+12	7252	1026	1026	2600	2497	2317	2568	2749
200	55+12	6652	926	927	2400	2565	2386	2616	2797
	60+12	7252	1026	1026	2600	2562	2382	2633	2814
240	55+12	6652	926	927	2400	2605	2426	2656	2837
	60+12	7252	1026	1026	2600	2602	2422	2673	2854
260	55+12	6652	926	927	2400	2625	2446	2676	2857
	60+12	7252	1026	1026	2600	2622	2442	2693	2874
280	55+12	6652	926	927	2400	2645	2466	2696	2877
	60+12	7252	1026	1026	2600	2642	2462	2713	2894

2. (つづき)

2-2 つづき

お願い

- 基礎寸法は、別紙D669(MAN-700)「取付説明書 -基礎寸法一覧-」を参照ください。
- 柱の奥行き方向への移動は±100mmまで可能です。(ただし、A寸法は±100mm以内にする事)
- 下記表記内容は標準柱寸法を示します。ロング柱25は標準柱の寸法値に+200mm、ロング柱30は標準柱の寸法値に+700mm、ロング柱35は標準柱の寸法値に+1200mmの値が高さ寸法に追加されます。(※1)

(5) 長さ55+12、60+12サイズ：6本柱+12延長 ※()内は梁260、280仕様を示します。

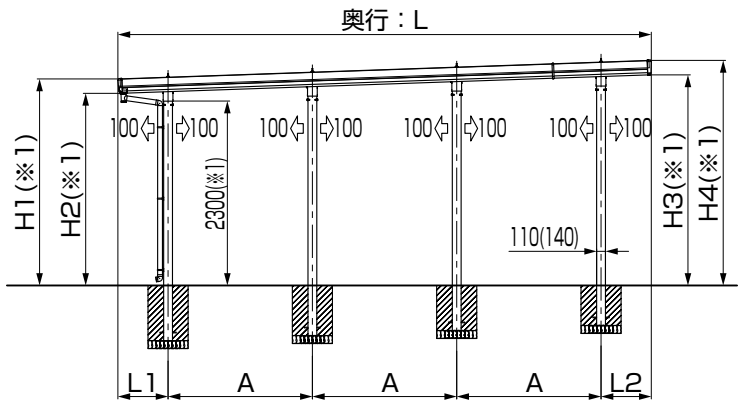


表2-6

梁	奥行き	L	L1	L2	A	H1	H2	H3	H4
200	55+12	6652	626	627	1800	2576	2396	2626	2807
	60+12	7252	776	776	1900	2571	2391	2642	2823
240	55+12	6652	626	627	1800	2616	2436	2666	2847
	60+12	7252	776	776	1900	2611	2431	2682	2863
260	55+12	6652	626	627	1800	2636	2456	2686	2867
280	55+12	6652	626	627	1800	2656	2476	2706	2887
	60+12	7252	776	776	1900	2651	2471	2722	2903

(6) 長さ55+12、60+12サイズ：8本柱+12延長 ※()内は梁260、280仕様を示します。

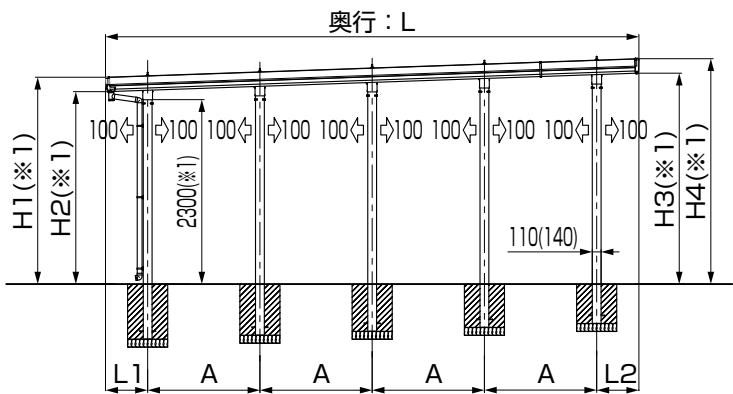


表2-7

梁	奥行き	L	L1	L2	A	H1	H2	H3	H4
200	55+12	6652	526	527	1400	2579	2400	2630	2811
	60+12	7252	626	627	1500	2576	2396	2647	2828
240	55+12	6652	526	527	1400	2619	2440	2670	2851
	60+12	7252	626	627	1500	2616	2436	2687	2868
260	55+12	6652	526	527	1400	2639	2460	2690	2871
280	55+12	6652	526	527	1400	2659	2480	2710	2891
	60+12	7252	626	627	1500	2656	2476	2727	2908

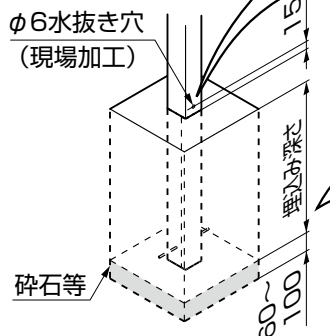
3 本体の施工方法

1. 基礎の施工

1-1 柱の埋込み

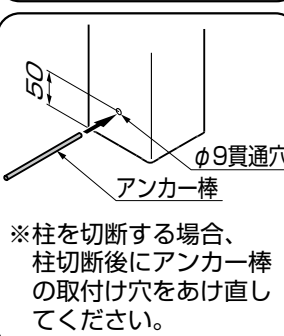
(1) 柱の穴加工

【独立基礎の場合（土間コンクリート無し）】
＜地耐力100kN/m²の場合＞



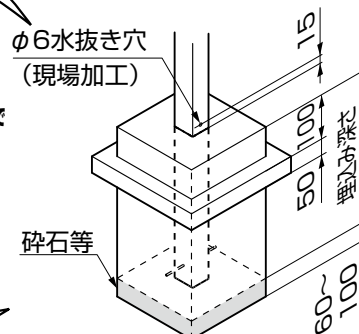
注意

●柱には水抜き穴(φ6)をあけてください。水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。



※柱を切断する場合、柱切断後にアンカー棒の取付け穴をあけ直してください。

【土間コンクリート併用基礎の場合】
＜地耐力100kN/m²の場合＞



(2) 柱の切断（埋込み深さを統一する場合）

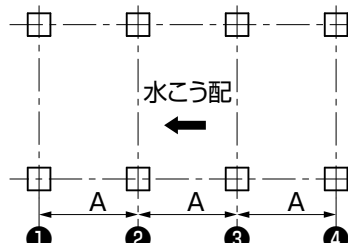


図1-1 縦連棟 4本柱+4本柱

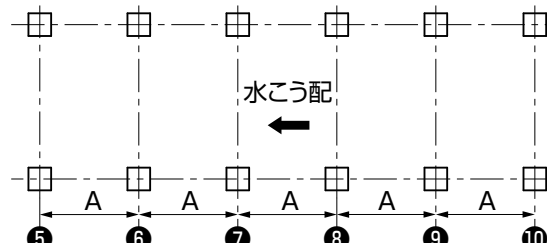


図1-2 縦連棟 6本柱+6本柱

表1-1 切断寸法

柱本数	奥行 サイズ	柱切断寸法			
		①	②	③	④
8本	L55+55	187	136	86	35
	L55+60	187	135	82	30
	L60+60	187	135	82	30

表1-2 切断寸法

柱本数	奥行 サイズ	柱切断寸法					
		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
12本	L55+55	187	154	121	88	54	21
	L55+60	187	152	117	82	47	12
	L60+60	187	150	114	77	40	4

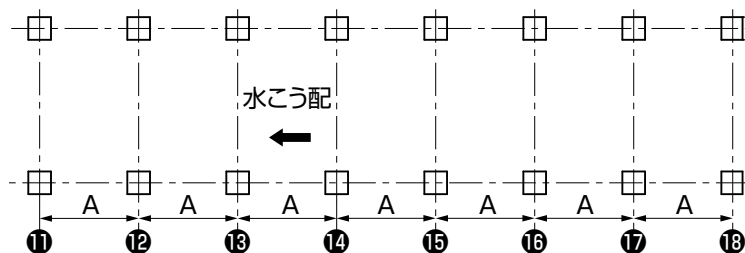


図1-3 縦連棟 8本柱+8本柱

表1-3 切断寸法

柱本数	奥行 サイズ	柱切断寸法							
		⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
16本	L55+55	187	163	138	114	89	65	40	16
	L55+60	187	161	135	108	82	56	30	4
	L60+60	187	159	131	103	75	47	19	※

※切断不要

(3) 基礎の施工



D669(MAN-700)「取付説明書-基礎寸法一覧-」を参照し基礎穴を掘り、柱を埋め込んでください。

お願い

●柱を埋込む際は、注意ラベルが柱の水下側または水上側の太陽光がラベルに当たり難い面にくるように施工してください。

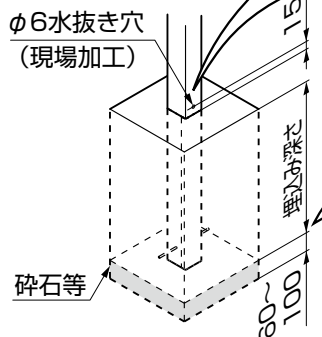
お願い

●現場の状況に応じて屋根の水こう配方向を決定してください。
●柱を埋込む際は、注意ラベルを柱の内側に施工してください。注意ラベルを柱の外側に施工した際は、内側へ貼り替えてください。

1. 基礎の施工（つづき）

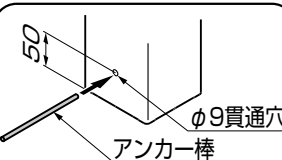
(1) 柱の穴加工

【独立基礎の場合（土間コンクリート無し）】
＜地耐力100kN/m²の場合＞



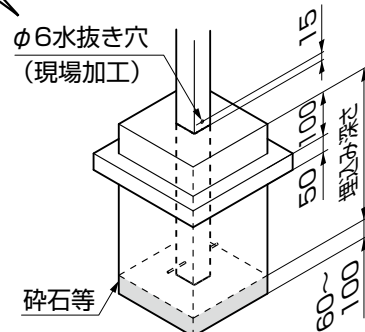
注意

●柱には水抜き穴（φ6）をあけてください。水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。



※柱を切断する場合、柱切断後にアンカー棒の取付け穴をあけ直してください。

【土間コンクリート併用基礎の場合】
＜地耐力100kN/m²の場合＞



(2) 柱の切断（埋込み深さを統一する場合）

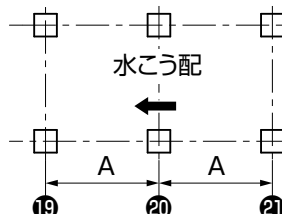


図1-4 4本柱+12延長

表1-4 切断寸法

柱本数	奥行 サイズ	柱切断寸法		
		19	20	21
4+2本	L55+55	187	103	19
	L60+60	187	96	5

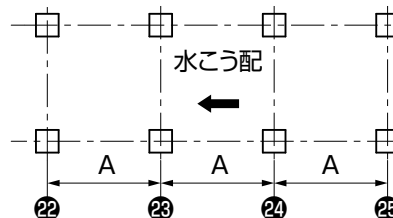


図1-5 6本柱+12延長

表1-5 切断寸法

柱本数	奥行 サイズ	柱切断寸法			
		22	23	24	25
6+2本	L55+55	187	124	61	※
	L60+60	187	121	54	※

※切断不要

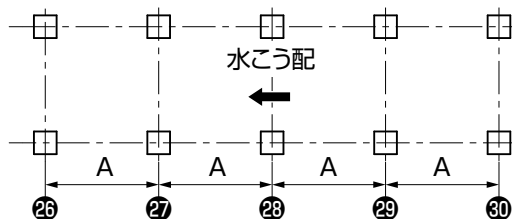


図1-6 8本柱+12延長

表1-6 切断寸法

柱本数	奥行 サイズ	柱切断寸法				
		26	27	28	29	30
8+2本	L55+55	187	138	89	40	※
	L60+60	187	135	82	30	※

※切断不要

お願い

- 現場の状況に応じて屋根の水こう配方向を決定してください。
- 柱を埋込む際は、注意ラベルを柱の内側に施工してください。注意ラベルを柱の外側に施工した際は、内側へ貼り替えてください。

(3) 基礎の施工



D669(MAN-700)「取付説明書 -基礎寸法一覧-」を参照し基礎穴を掘り、柱を埋め込んでください。

2. 梁・タイトフレームの取付け

お願い

- 梁・タイトフレームの取付けは、D522 (MAM-45)「取付説明書 -基本・横連棟-」を参照してください。

3. 側枠・折板の加工

3-1 側枠・折板の加工

(1) 縦連棟 4本柱+4本柱



注意

●4500タイプ4本柱+4本柱仕様は、必ず1.0mm厚の折板を使用してください。

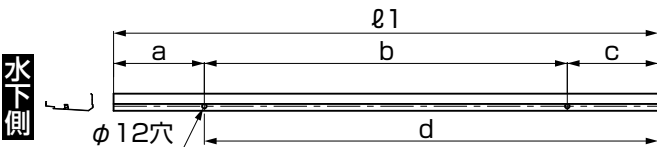
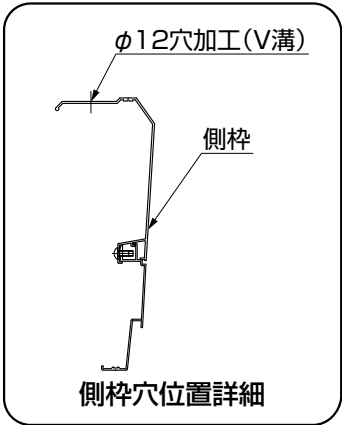
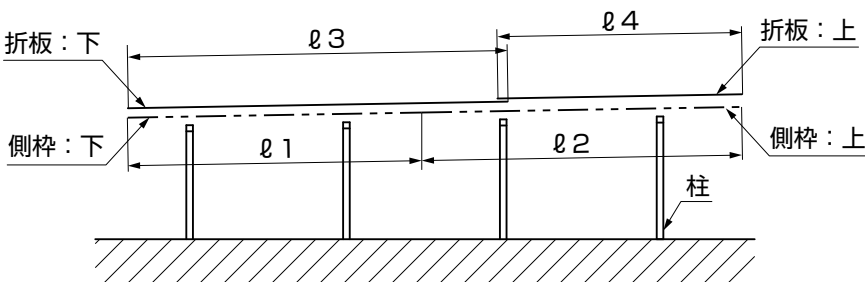


図3-1 側枠下 加工位置図



図3-2 側枠上 加工位置図

表3-1 側枠加工位置

柱本数	サイズ呼称	ℓ1	ℓ2	a	b	c	d	e	f
8	L55+55	5400	5400	1050	2900	1450	4350	1450	4350
	L55+60	5400	6000	1200	3000	1200	4200	1800	4800
	L60+60	6000	6000	1500	3000	1500	4500	1500	4500

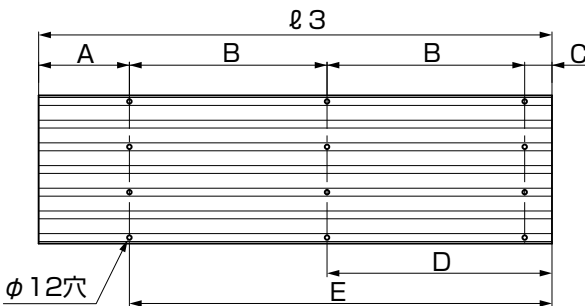


図3-3 折板下 加工位置図

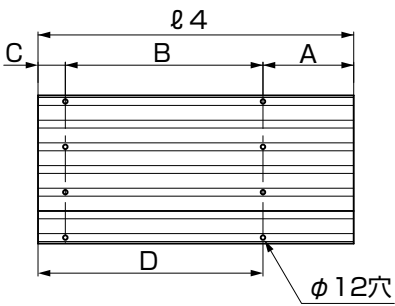


図3-4 折板上 加工位置図

表3-2 折板加工位置

柱本数	サイズ呼称	ℓ3	ℓ4	A	B	C	D	E
8	L55+55	6950	4050	1050	2900	100	3000	5900
	L55+60	7300	4300	1200	3000	100	3100	6100
	L60+60	7600	4600	1500	3000	100	3100	6100

①図3-1、図3-2、図3-3、図3-4、表3-1、表3-2を参照して、側枠と折板を加工してください。

お願い

●加工後は折板から切粉を取除いてください。サビの原因になります。

3. (つづき)

3-1 つづき

(2) 縦連棟 6本柱+6本柱

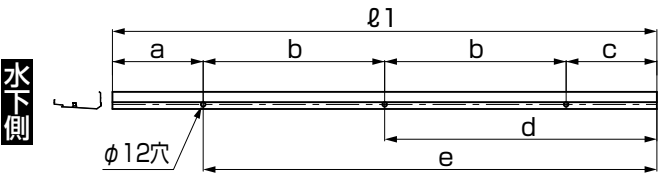
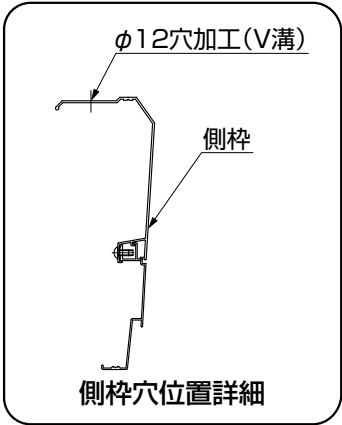
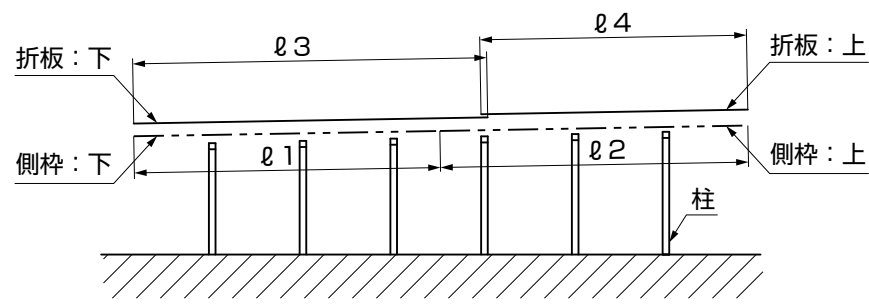


図3-5 側枠下 加工位置図

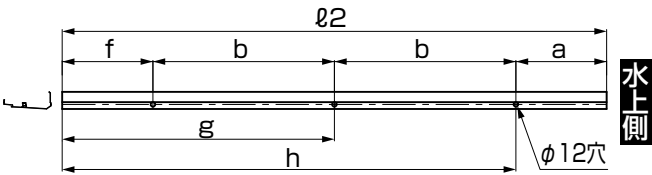


図3-6 側枠上 加工位置図

表3-3 側枠加工位置

柱本数	サイズ呼称	ℓ1	ℓ2	a	b	c	d	e	f	g	h
12	L55+55	5400	5400	650	1900	950	2850	4750	950	2850	4750
	L55+60	6000	5400	700	2000	1300	3300	5300	700	2700	4700
	L60+60	6000	6000	750	2100	1050	3150	5250	1050	3150	5250

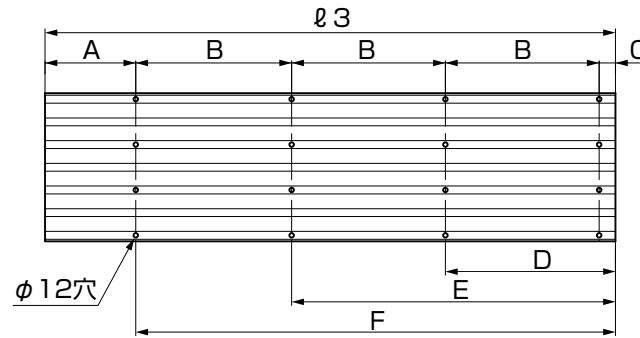


図3-7 折板下 加工位置図

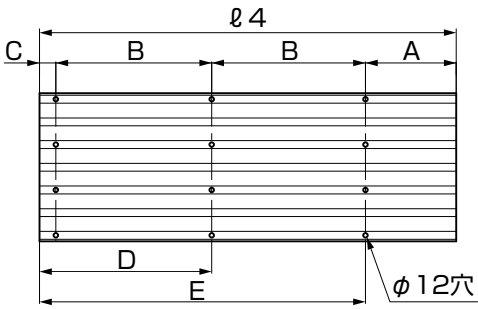


図3-8 折板上 加工位置図

表3-4 折板加工位置

柱本数	サイズ呼称	ℓ3	ℓ4	A	B	C	D	E	F
12	L55+55	6450	4550	650	1900	100	2000	3900	5800
	L55+60	6800	4800	700	2000	100	2100	4100	6100
	L60+60	7150	5050	750	2100	100	2200	4300	6400

①図3-5、図3-6、図3-7、図3-8、表3-3、表3-4を参照して、側枠と折板を加工してください。

お願い

●加工後は折板から切粉を取除いてください。サビの原因になります。

(3) 縦連棟 8本柱+8本柱

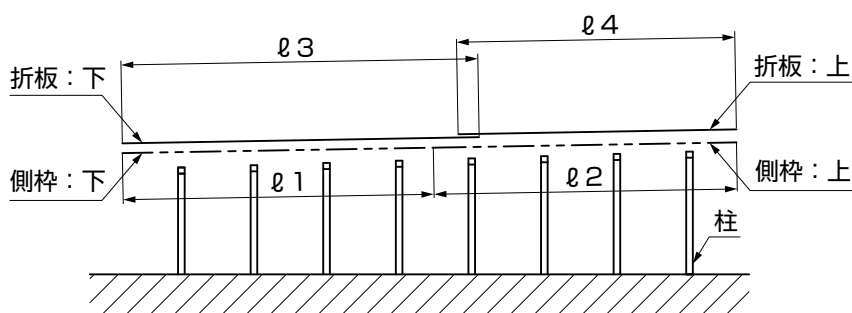


図3-9 側枠下 (水上側) 加工位置図

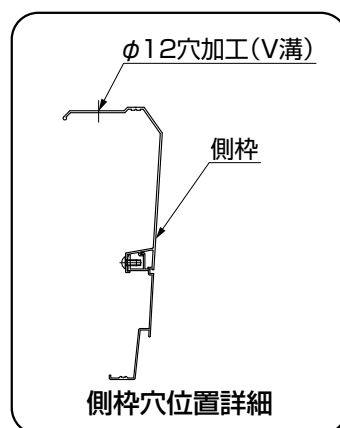


図3-10 側枠上 (水下側) 加工位置図

表3-5 側枠加工位置

柱本数	サイズ呼称	$\ell 1$	$\ell 2$	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
16	L55+55	5400	5400	500	1400	700	2100	3500	4900	700	2100	3500	4900
	L55+60	6000	5400	450	1500	1050	2550	4050	5550	450	1950	3450	4950
	L60+60	6000	6000	400	1600	800	2400	4000	5600	800	2400	4000	5600

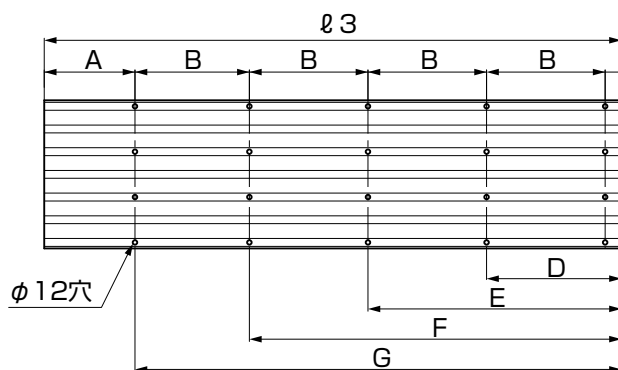


図3-11 折板下 加工位置図

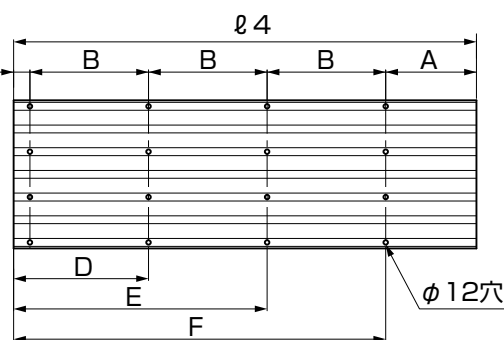


図3-12 折板上 加工位置図

表3-6 折板加工位置

柱本数	サイズ呼称	$\ell 3$	$\ell 4$	A	B	C	D	E	F	G
16	L55+55	6200	4800	500	1400	100	1500	2900	4300	5700
	L55+60	6550	5050	450	1500	100	1600	3100	4600	6100
	L60+60	6900	5300	400	1600	100	1700	3300	4900	6500

①図3-9、図3-10、図3-11、図3-12、表3-5、表3-6を参照して、側枠と折板を加工してください。

お願い

●加工後は折板から切粉を取除いてください。サビの原因になります。

3. (つづき)

3-1 つづき

(4) 4本柱+長さ12延長

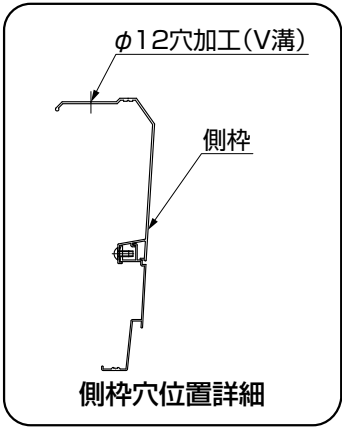
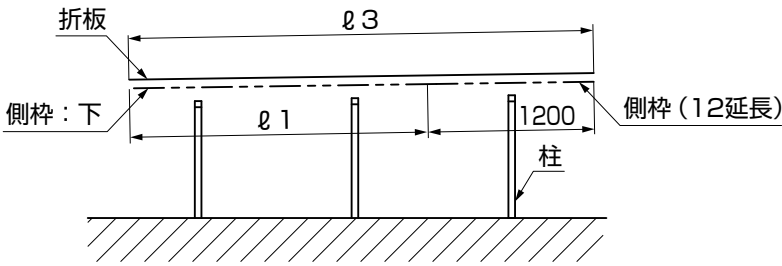


図3-13 側枠下 加工位置図

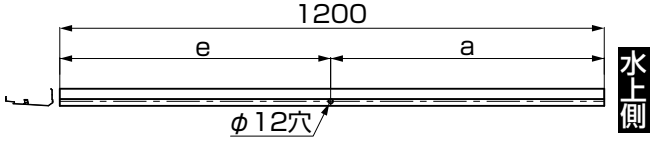


図3-14 側枠上(12延長) 加工位置図

表3-7 側枠加工位置

柱本数	サイズ呼称	l1	a	b	c	d	e
4+2	L55+12	5400	899	2401	2100	4501	301
	L60+12	6000	999	2601	2400	5001	201

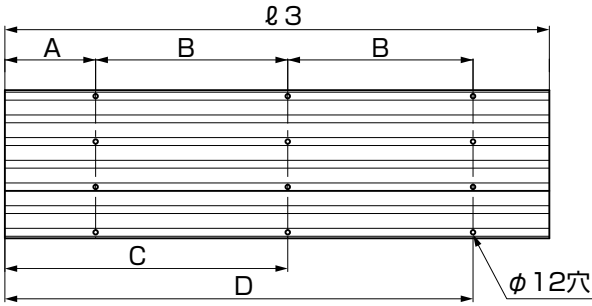


図3-15 折板 加工位置図

表3-8 折板加工位置

柱本数	サイズ呼称	l3	A	B	C	D
4+2	L55+12	6600	899	2401	3300	5701
	L60+12	7200	999	2601	3600	6201

①図3-13、図3-14、図3-15、表3-7、表3-8を参照して、側枠と折板を加工してください。

お願い

- 柱を移動した場合、加工位置を調整してください。
- 加工後は折板から切粉を取除いてください。サビの原因になります。

3 本体の施工方法

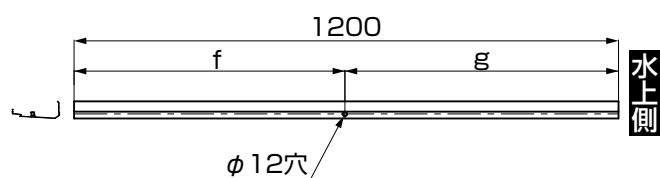
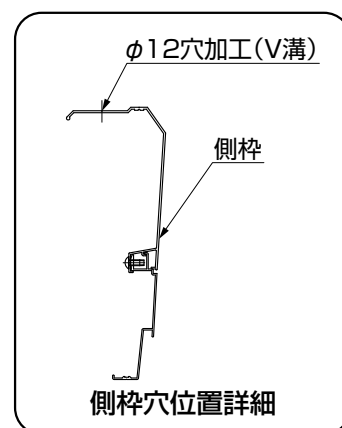
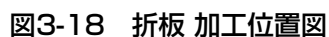


図3-17 側枠上(12延長)加工位置図

柱本数	サイズ呼称	ℓ1	a	b	c	d	e	f	g
6+2	L55+12	5400	598	1801	1200	3001	4802	601	599
	L60+12	6000	748	1901	1450	3351	5252	451	749



柱本数	サイズ呼称	ℓ3	A	B	C	D	E
6+2	L55+12	6600	598	1801	2399	4200	6001
	L60+12	7200	748	1901	2649	4550	6451

お願い

- 柱を移動した場合、加工位置を調整してください。
- 加工後は折板から切粉を取除いてください。サビの原因になります。

3. (つづき)

3-1 つづき

(6) 8本柱+長さ12延長

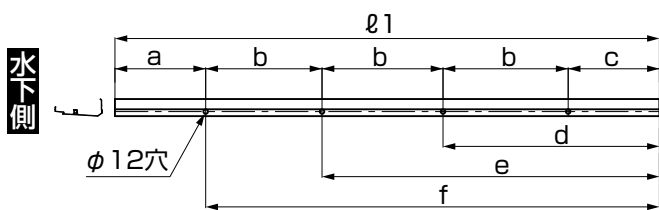
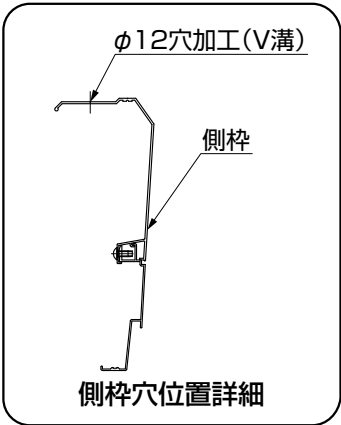
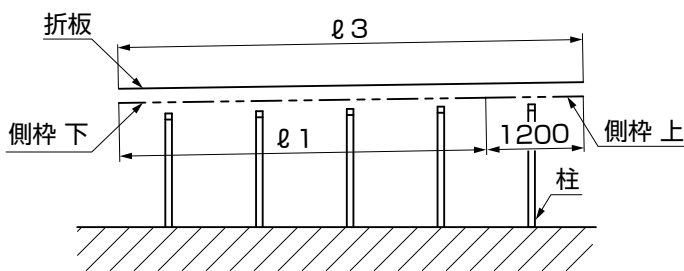


図3-19 側枠下 加工位置図

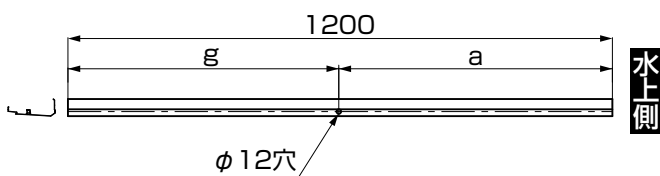


図3-20 側枠上(12延長) 加工位置図

表3-11 側枠加工位置

柱本数	サイズ呼称	ℓ1	a	b	c	d	e	f	g
8+2	L55+12	5400	498	1401	699	2100	3501	4902	702
	L60+12	6000	598	1501	899	2400	3901	5402	602

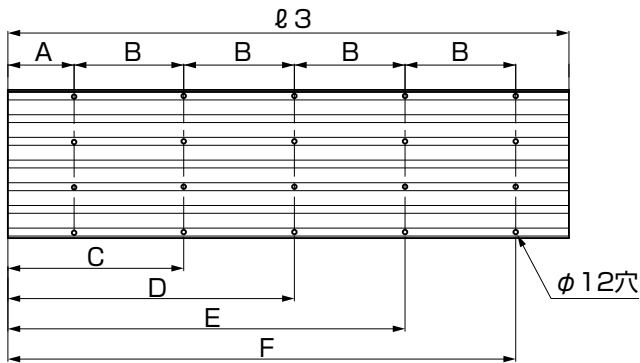


図3-21 折板加工位置図

表3-12 折板加工位置

柱本数	サイズ呼称	ℓ3	A	B	C	D	E	F
8+2	L55+12	6600	498	1401	1899	3300	4701	6102
	L60+12	7200	598	1501	2099	3600	5101	6602

①図3-19、図3-20、図3-21、表3-11、表3-12を参照して、側枠と折板を加工してください。

お願い

- 柱を移動した場合、加工位置を調整してください。
- 加工後は折板から切粉を取除いてください。サビの原因になります。

3-2 側枠 連結部の加工～仮組付け

(1) 連結部の加工

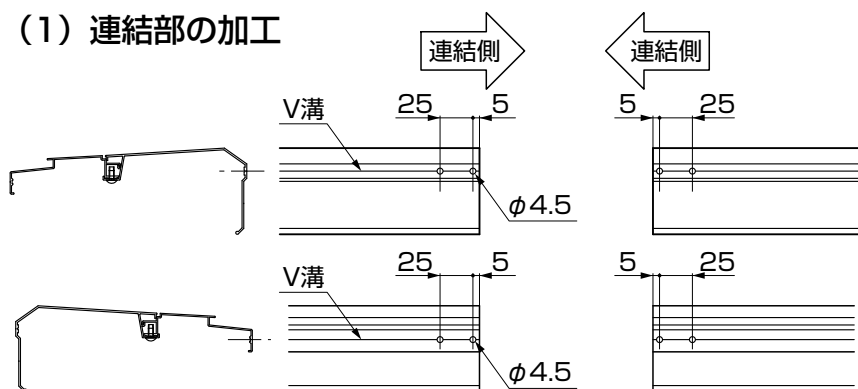


図3-22 側枠の加工

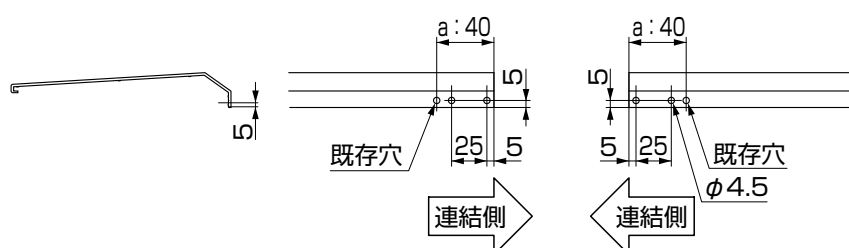


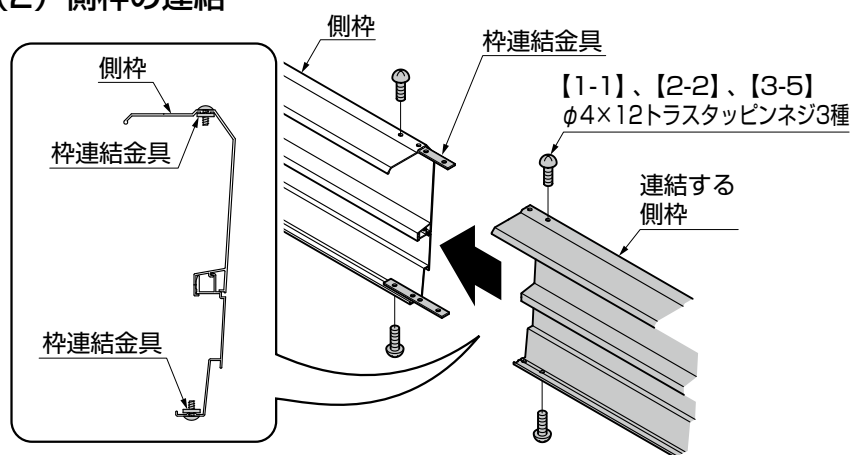
図3-23 化粧枠の加工

①図3-22を参照して、側枠に穴加工をしてください。

②化粧枠取付け時は図3-23を参照して、化粧枠を側枠へ組付け後、穴加工してください。

※a寸法は、工場出荷時加工穴を示します。

(2) 側枠の連結

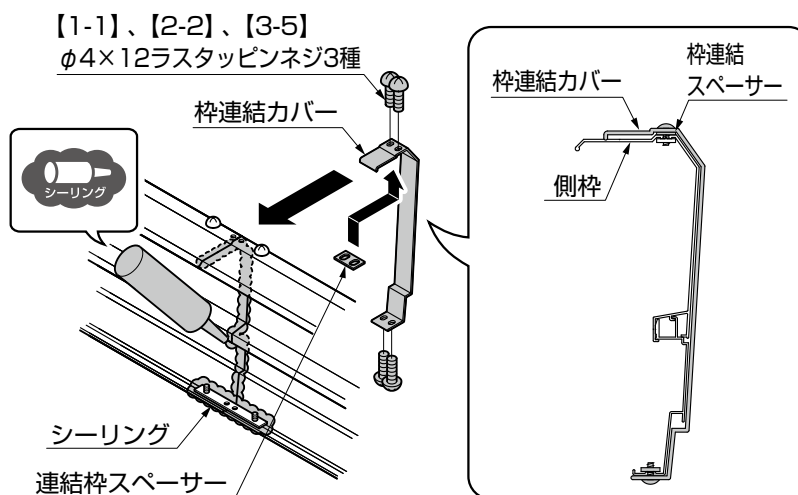


①側枠を枠連結金具と【1-1】、【2-2】、【3-5】で連結してください。

お願い

●上下面中央2本のネジは（3）枠連結力バーと同時に取付けます。

(3) シーリング、枠連結力バーの取付け



①側枠の継ぎ目と金具の周りにシーリングをしてください。

②枠連結力バーに枠連結スペーサーを貼付けてください。

※化粧枠取付け時は不要です。

③側枠の連結部に枠連結力バーを【1-1】、【2-2】、【3-5】で取付けてください。

お願い

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

3. (つづき)

3-2 つづき

(4) 側枠の仮組付け(横材を使用しない場合)

お願い

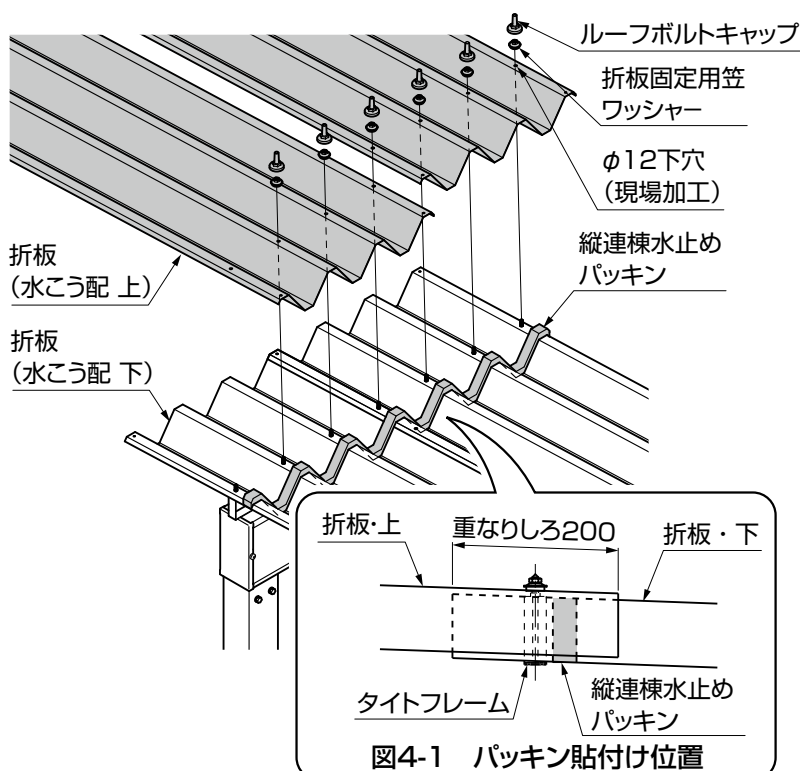
- D522 (MAM-45)「取付説明書 ー基本・横連棟ー」を参照して、側枠を仮取付けしてコンクリートの打設を行なってください。
- 横材を取付ける場合は必要ありません。

4. 側枠・折板の取付け

4-1 折板の取付け(重なり部)

お願い

- 折板は水こう配下側より取付けてください。
- 重なり部以外の折板および折板ボルトの取付けは、D522 (MAM-45)「取付説明書 ー基本・横連棟ー」を参照してください。



- ①側枠を仮組付けしてコンクリートを打設した場合は側枠を取外してください。
- ②折板を取付けてください。
- ③水こう配上側折板と下側折板の重なりしろ中央付近に、縦連棟水止めパッキンを貼付けてください。
- ④奥行柱ピッチ2400以上の場合、折板ボルトの取付けが必要になります。(D522 (MAM-45)「取付説明書ー基本・横連棟ー」参照)

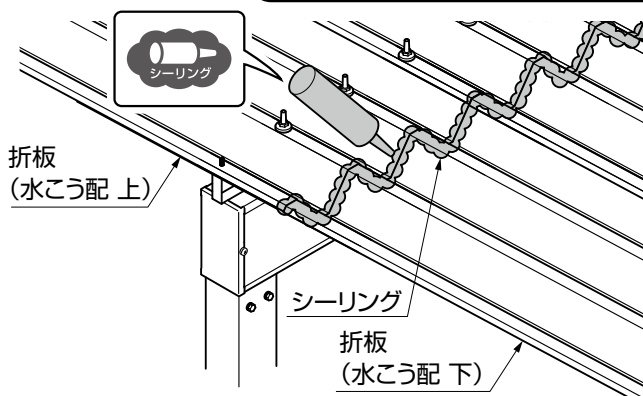
お願い

- パッキンの貼付け位置は、折板上下の重なりしろ中央付近でタイトフレームの水下側になります。(図4-1 参照)
- 2台用でパッキンをつなぐときは折板の山の上で行なってください。

- ⑤上側の折板を固定後、重なり端部にシーリングをしてください。

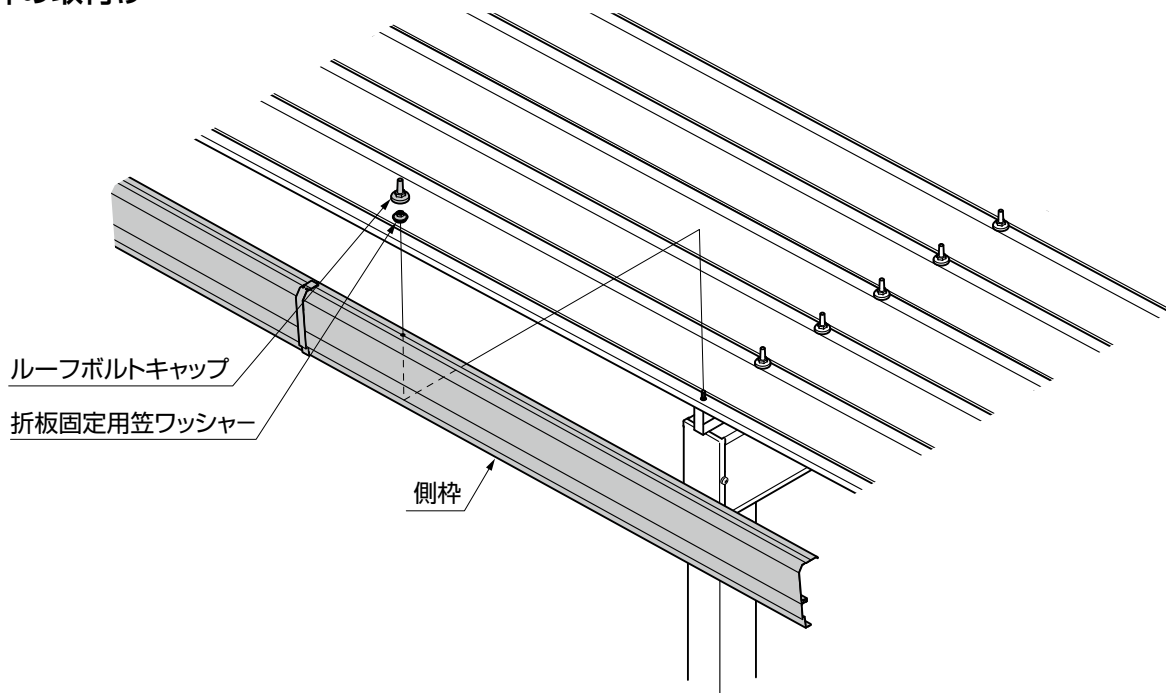
お願い

- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。



4-2 側枠の取付け

(1) 側枠の取付け



①連結した側枠をタイトフレームに取付け、折板固定用笠ワッシャーとルーフボルトキャップで固定してください。

(2) 側枠取付金具の取付け



図4-2 4本柱+長さ12延長

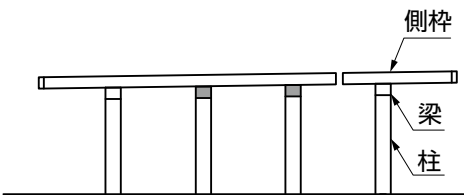


図4-3 6本柱+長さ12延長

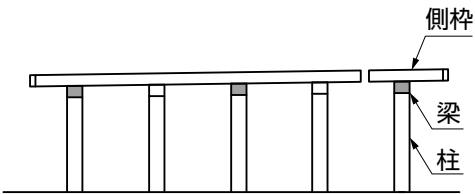
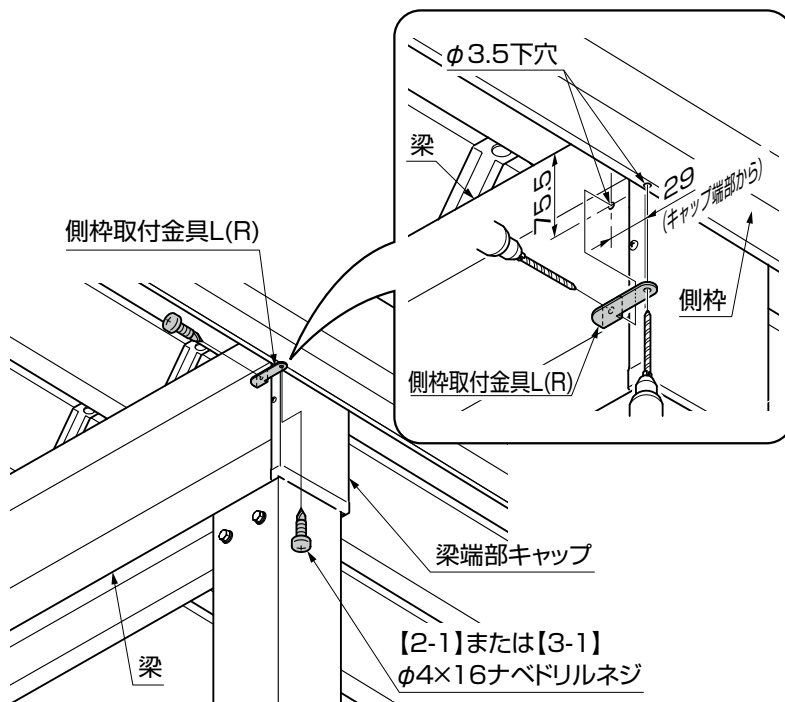


図4-4 8本柱+長さ12延長



①長さ12延長を施工時は、図4-2、図4-3、図4-4の位置の梁に側枠取付金具を仮当てし、取付用の下穴φ3.5をあけて【2-1】または【3-1】で取付けてください。

お願い

- 側枠取付金具は梁の片面のみの取付けです。
●縦連棟施工時の側枠取付金具の取付位置は、基本仕様と変わりません。
詳細は、D522 (MAM-45)「取付説明書－基本・横連棟－」を参照してください。

5. 前後枠の取付け

お願い

●前後枠の取付けは、D522 (MAM-45) 「取付説明書 - 基本・横連棟 -」を参照してください。

6. 水切りパッキンの取付け

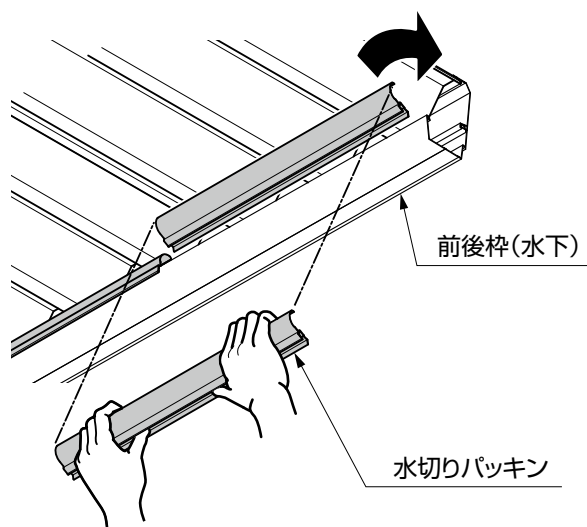
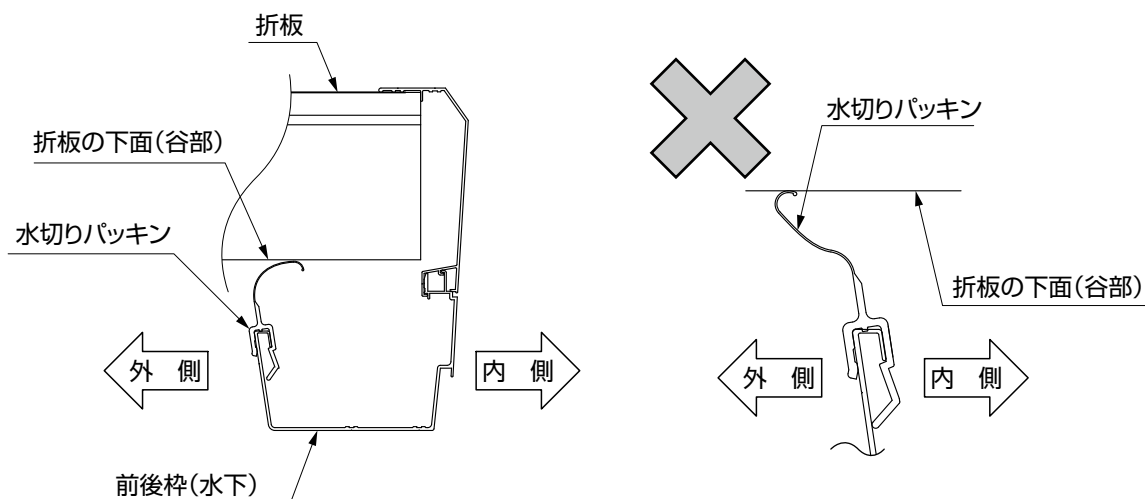


図6-1



①前後枠（水下）に水切りパッキンを図6-1のようにかぶせ、回転させながらはめ込んでください。

お願い

●水切りパッキン先端の向きが、前後枠の内側に向くように手で整えてください。

7. 竖樋の取付け

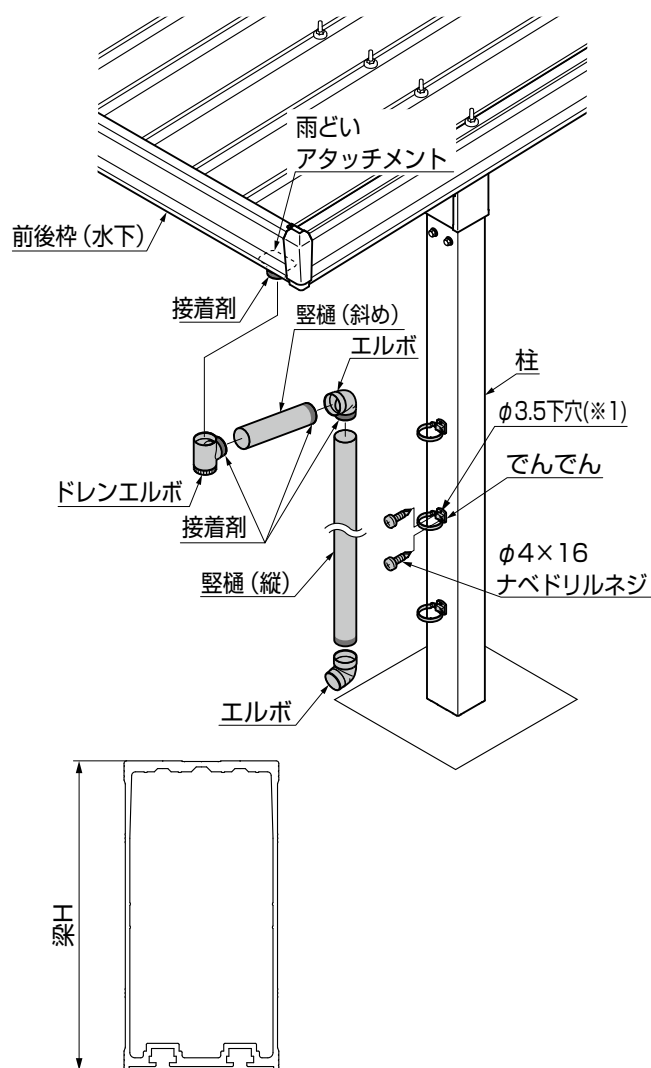


図7-1 梁高さH

①雨樋部品を取付けてください。

※右記寸法は柱位置が標準の場合の切断寸法です。

※施工する梁の高さと柱ピッチにより竖樋の切断寸法が変わります。

※竖樋切断寸法の縦使い寸法はロング柱25で+200mm、ロング柱30で+700mmで切断してください。

※ロング柱35の場合、竖樋を2本使用します。縦使い寸法は標準柱から+1200mmとなるように切断、連結させてください。(※2)

お願い

●ロング柱30、ロング柱35に取付ける場合は下穴φ3.5を加工してください。(※1)

●竖樋の連結についてはD522(MAM-45)「取付説明書—基本・横連棟—」を参照してください。(※2)

●アルミ竖樋の場合は右記の切断寸法表を参考に切断してください。 **オプション**



●D673「アルミ竖樋取付説明書」を参考にして施工してください。

表7-1

奥行サイズ 呼称	梁高さH	奥行 柱ピッチ	竖樋切断寸法	
			斜め	縦
L55+12	135	2400	689	2005
	200	1400	285	2140
		1800	386	2125
		2400	689	2070
	240	1400	285	2180
		1800	386	2165
		2400	689	2110
	260	1400	270	2200
		1800	371	2185
		2400	674	2130
	280	1400	270	2220
		1800	371	2205
		2400	674	2150
L60+12	135	2600	790	1990
	200	1500	386	2125
		1900	537	2095
		2600	790	2050
	240	1500	386	2165
		1900	537	2140
		2600	790	2090
	260	2600	775	2110
		1500	371	2205
		1900	522	2180
	280	2600	775	2130
		1400	286	2150
		1900	438	2125
L55+55	135	2900	842	2000
		1400	286	2150
		1900	438	2125
	200	2900	842	2065
		1400	286	2190
		1900	438	2165
	240	2900	842	2105
		1400	271	2210
		1900	423	2185
	260	2900	827	2125
		1400	271	2230
		1900	423	2205
L55+60	135	3000	993	1975
		1500	236	2160
		2000	488	2120
	200	3000	993	2040
		1500	236	2200
		2000	488	2160
	240	3000	993	2080
		1500	221	2240
		2000	473	2200
	260	3000	978	2100
		1500	221	2240
		2000	473	2200
L60+60	135	3000	1296	1930
		1600	185	2165
		2100	539	2110
	200	3000	1296	1990
		1600	185	2205
		2100	539	2150
	240	3000	1296	2030
		1600	170	2245
		2100	524	2190
	260	3000	1281	2050
		1600	170	2245
		2100	524	2190
	280	3000	1281	2070



JZZ622402J
201105A_1039
202609H_1100